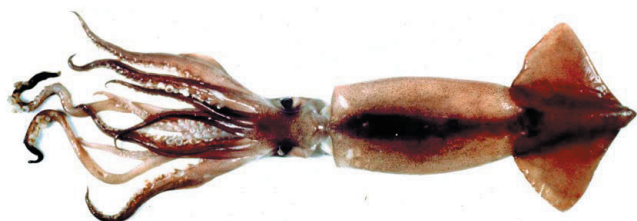


アルゼンチンマツイカ 南西大西洋

Argentine Shortfin Squid, *Illex argentinus*



利用・用途

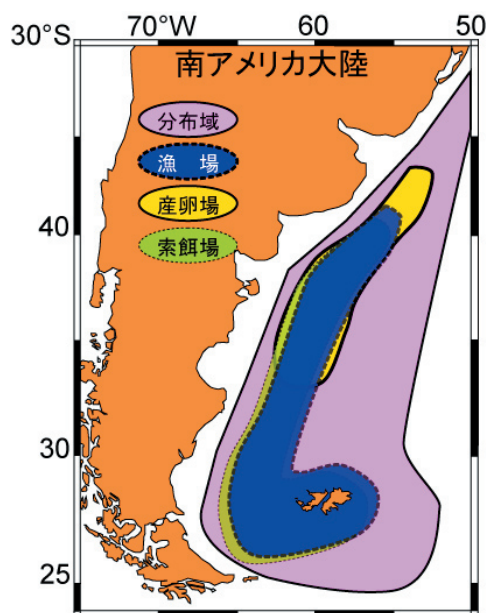
するめ、塩辛、まぐろはえ縄の餌等

管理・関係機関

管理はSAFC。評価はアルゼンチン政府及び英国政府がそれぞれの水域内で実施。

最近一年間の動き

2008年漁期における我が国のイカ釣船は、昨年の南西大西洋からの完全撤退によって、引き続きアルゼンチンEEZ内、公海およびフォークランド海域への入漁はなかった。2004年には枯渇寸前にまで資源は減少したが、2005年から急速に回復に向かった。同海域への日本漁船の入漁はなかったが、2008年はアルゼンチンEEZおよびフォークランドFICZ海域内での漁獲量は30万トンを超え、前年に引き続き豊漁となった。このため供給過多によって国際市場での大幅な価格低下をもたらしている。



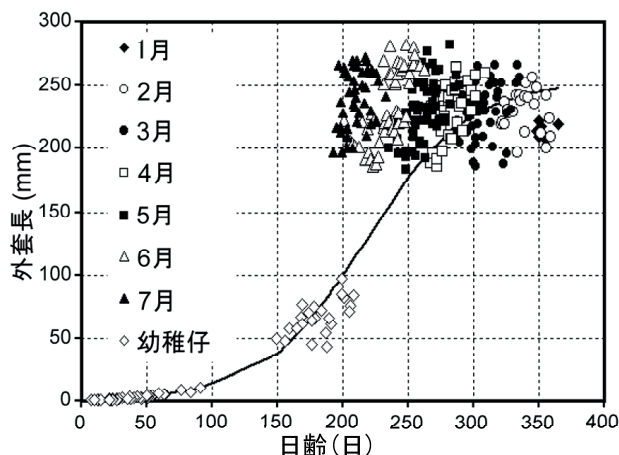
アルゼンチンマツイカの分布図

生物学的特性

- 寿命：1歳
- 成熟開始年齢：約8～12ヶ月
- 産卵期・産卵場：1年中；主に秋から冬、アルゼンチン沖大陸棚斜面域
- 索餌場：アルゼンチン沖大陸棚上
- 食性：中深層性魚類、オキアミ類、端脚類
- 捕食者：メルルーサ（幼イカ期）、海鳥など

漁業の特徴

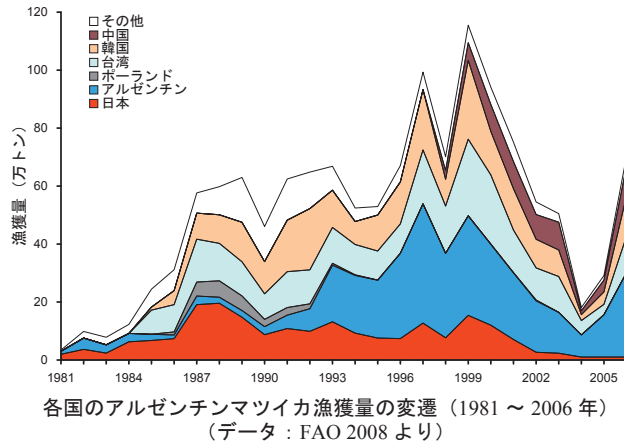
主要な漁業国は、日本、韓国、台湾、アルゼンチン等である。1970年代に沿岸国のアルゼンチン等によって年間数千トンが漁獲されていたが、1980年代に入りポーランド、日本等の遠洋漁業国のトロール船による本格的な操業が開始された。1980年代の半ばに日本、台湾及び韓国のいか釣船が操業を開始した。現在でもいか釣船による漁獲がほとんどである。本種の盛漁期は南半球の夏から秋（2月から6月）で、漁場は季節とともに南北に移動する。



夏季産卵系群”の雌の成長曲線各点は生まれ月および幼稚仔期(◇)を示す(Brunetti et al.1998aより)

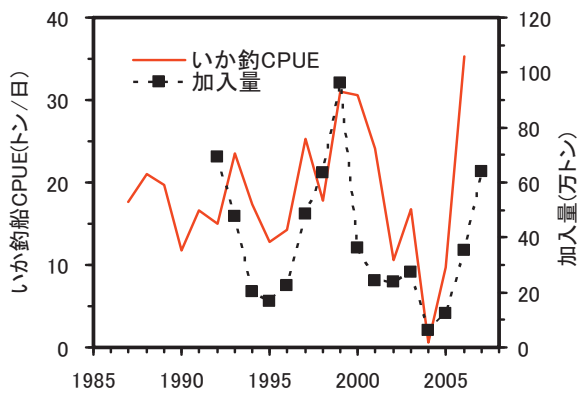
漁業資源の動向

1980年代後半から総漁獲量は増加し、100万トンに達するような年を除くと、近年まで50～70万トン前後で安定していた。日本の漁獲量も1990年代は約10万トンで安定する一方、沿岸国のアルゼンチンの漁獲量が急増を始め30～40万トンに達している。しかし、2004年には総漁獲量は約14万トンに低下したが、2006年に急増し、それ以降、資源は高水準を保ち公海を除くアルゼンチンEEZおよびフォークランドFICZ内での漁獲量は約30万トンを超えている。

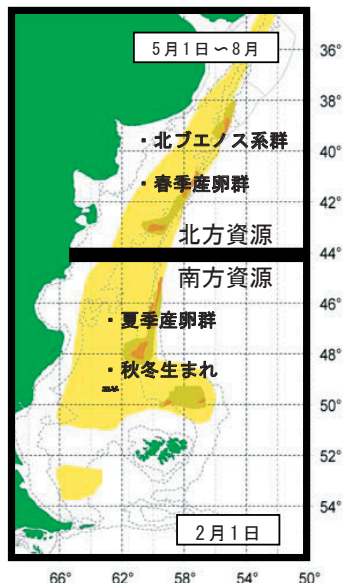


資源状態

1994年から1996年にかけて低水準となったが、その後、資源水準は回復に転じ、1999年にピークに達した。しかし、翌年には再び資源量は急激に減少し、2004年には資源は枯渇の危機に瀕した。2006年から徐々に加入量は増加を始め、2007年、2008年ともに再生産関係は親魚量および翌年加入量ともに高い水準域にある。



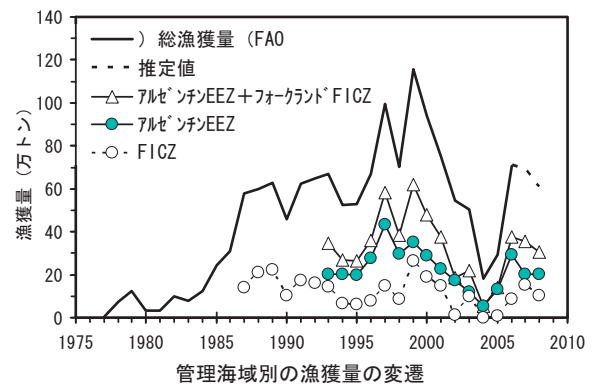
日本のいか釣船のCPUE (トン/日) の経年変化とアルゼンチン調査船による秋冬生まれ群 (南パタゴニア系群) の加入量 (トン) の経年変化



本種の季節発生群 (系群) と南緯 44 度を境とした資源分割管理

管理方針

本種は、ある程度の再生産関係があると想定し、「来漁期の資源にまわす親を一定量 (40%) 確保する施策」 (相対逃避率による再生産管理) をとっている。南方 (南緯 44 度以南) の本種資源は、入漁隻数の制限と解禁日 (2 月 1 日) に加え、相対逃避率の目標値を 40% となるようにリアルタイムで資源と漁業を管理している。この目標逃避率は毎年必ずしも厳格に施行されてきたわけではなく、わずか 11% (残した産卵親イカ量はわずか 2.6 万トン) に低下した年もあった。このような絶対逃避量の減少による次年度加入量の低下の危険性を避けるため、2001 年には相対逃避率管理に加え、絶対的な逃避量 4 万トンを設定した。なお、アルゼンチンだけで管理する北方海域 (南緯 44 度より北) では、入漁隻数と漁期の制限 (5 月 1 日 ~ 8 月 31 日) による漁業管理を実施している。



資源評価まとめ

- 相対逃避率 40% 及び絶対逃避量 4 万トンを維持
- 前年の漁獲実績による入漁隻数の制限
- 解禁日と禁漁期 (終漁日) の設定
- 南北資源ともに基本的には努力量管理方針

資源管理方針まとめ

- 南方資源の評価機関はア英国両政府の 2 国間漁業委員会 (SAFC) が実施
- 漁期前の底びき網による生物量調査、および Leslie-DeLury 法により評価
- 資源水準は高位で安定

アルゼンチンマツイカ (南西大西洋) の資源の現況 (要約表)

資源水準	高位
資源動向	横ばい
世界の漁獲量 (最近 5 年間)	17.9 ~ 70.4 万トン 平均 : 44.4 万トン
我が国の漁獲量 (最近 5 年間)	1.0 ~ 2.7 万トン 平均 : 2.3 万トン